

長野版アートゲームの貸出をご希望の方は、「長野版アートゲーム申込書」に必要事項をご記入の上、当館まで FAX またはメール でお送りください。(販売はしておりません)

- 対象:長野県内の学校等教育機関または美術館や公民館、福祉施設での教育活動 「長野版アートゲーム」を使用した研修会なども実施しています。お気軽にお問い合わせ下さい。
- ●受け取り方法:郵送あるいは来館での受け取りとなります。

長野県立美術館「長野版アートゲーム」申込書							
学 校 名 (団体名称)							
住 所	₹						
TEL				F A X			
E-mail							
ご担当者名				使用する学年			
貸出内容	冊子		₩	カ	ード(生徒用)		箱
	CD-R		枚	カ	ード(教員用)		箱
試用期間	年	月	日	~	年	月	B
借用日			年	月	日	(到着希望予	定日)
返 却 日			年	月	В		

*この申込書は、当館 HPからもダウンロードすることができます。 *確認のため折り返しご連絡をさせていただいております。 *郵送返却の発送費はご負担願います。



お申込み・お問い合わせ

長野県立美術館(アートゲーム係)

〒380-0801 長野県長野市箱清水 1-4-4 Tel. 026-232-0052 (平日9:00~17:00) Fax. 026-232-0050

Mail. nam-learning@naganobunka.or.jp https://nagano.art.museum/







失生のための美術館ガイド

「長野版アートゲーム」は、作品カードを使ったさまざまなゲームを通じて、 美術を身近に感じることができる美術鑑賞用キットです。











長野版アートゲーム

美術は難しいものだと思っていませんか。美術作品を楽しむ方法は人それぞれ。 例えば、一点一点じっくりと作品に向き合う人もいれば、気に入った作品を中心に鑑賞する人もいるでしょう。 他の人と感想を話し合ったり、意見交換したりするのも楽しい見方です。

作品の題名や作者についての知識がないと、美術はわからないとお考えの人もいるかもしれませんが、 美術は、自由にみて、楽しめるものです。

「長野版アートゲーム*」は、カードを使ったさまざまなあそびを通じて、

子どもたちのみる力や考える力、伝える力を育み、美術を身近に感じることができる鑑賞用キットです。

学校での鑑賞、美術館で団体鑑賞をおこなう際の事前学習、地域文化の学習などにご活用ください。

*「長野版アートゲーム」は、平成20年度文化庁芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想)のモデル事業として、信州大学、長野県美術教育研究会、長野県総合教育センター、 長野県内美術館・博物館のご協力のもとに制作しました。(ガイドブックおよびキャラクターデザインは、中沢デザイン事務所による。)

「長野版アートゲーム」には3つのアイテムが入っています。

*1セット、6~8人のグループを目安にご利用ください。

長野県内にある美術館、博物館、神社などに所蔵されて いる作品だけを掲載しています。長野県ゆかりの作家や、 世界的に優れた作品、長野県を代表する文化財の中から 100点を選びました。

カードには作品名や作家名などはあえて記載していません。 活動に合わせて枚数や作品を調整してご活用ください。





作品画像CD-R

スクリーン投影用として、教室での鑑賞授業などでご活用 ください。



ガイドブック

アートゲームのあそびかた(12種類)や作品の題名や 所蔵先、作家の説明、新しいあそびかたの応募方法 について書かれています。





あるそびかた



作品はどれだ!?ゲーム

秘密で選んだカードはどれだ!? みんなで推理してみよう!

- ①全ての作品カードを表にして並べます。
- ②じゃんけんで、順番を決めます。

1番の人は、自分のお気に入りカードを他の人にはひみつで1枚選びます。

- ③ 他の人は、1番の人が選んだカードについて「Yes・No」で答えられる質問をします。 (例:人が描かれていますか?春ですか?朝ですか?など)
- ⚠ 全員が質問したところで、「せーの」で一斉にカードを指さします。
- ⑤ 1番の人は正解を発表します。当たった人はそのカードをもらいます。 はずれた場合は、1番の人がカードをゲット!
- 6 2番目の人にかわります。
- 一周して手持ちのカードが多い人が勝ちです。
- *対象年齢によっては、カードの枚数を減らすなどして調整してください。





なりまりゲーム

作品カードに描かれたものになりきってみよう!

- ① 人物が描かれた作品カードのみを束にして、中央に置きます。
- 2 1番の人は中央のカードを1枚めくり、 描かれた人物のポーズや表情を真似します。
- ③ みんなが「似ている!」と賛成したら、 自分の手持ちカードとなります。
- *対象年齢によっては、動物や、抽象画の作品を混ぜるのも楽しいです。



展覧会をつくろう

学芸員になったつもりで、 自分たちの展覧会をつくってみよう!

- 大きな紙を各グループに配ります。
- 2 全ての作品カードを表にして広げます。
- ③ 展覧会のテーマを考え、テーマに合ったカードを5~7枚選びます。
- △ 作品をみてもらう順番を考え、紙に配置し、テーマを書きます。 横一列、たて一列、円、四角など、見せ方(並べ方)は自由です。
- ⑤ 完成したら、グループごとに、 どのような展覧会にしたのか、発表しましょう。
- *選ぶカードの枚数を増やしたり、グループでひとつの展覧会を考えるのも楽しいです。

